



学校だより

上小岩



令和5年9月29日

NO.6

江戸川区立上小岩小学校
校長 宮本 知司

成長にとって大切な「あこがれ」の気持ち

～ 「体育学習発表会」を大成功に終えて ～ 校長 宮本 知司

今号より、だれにでも読みやすい「UDフォント」を使用します。



9月24日の日曜日は、日本列島に今季初めての「秋の空気」が本格的にやってきた日でした。その絶好の秋空の下で実施した体育学習発表会は、まさに大成功の『みんなで作る 体育学習発表会』となりました。まずは、当日までのたくさんの方々の大きく、温かなお力添えに感謝申し上げます。

今回「体育学習発表会」という名称に改めたのは、これまでの運動会にとらわれすぎない「新しい形」での行事にしたいと考えたからです。練習への取組み、そして本番での大きな成功体験を力として「一人一人の子供たちがしっかりと伸びていく体育行事にしたい」、そう考えて前年度から計画を立てていきました。限られた時間内で、安全に楽しく練習は進められ、本番での一人一人の輝く姿へとつながりました。今年度は暑さ対策で短時間とするため、予定したりレーなどを割愛しましたが、次年度は「さらによりよいものにしていこう」と、職員は早速に考え始めています。上小岩二小の校庭をお借りして秋に行うことは、今後4年間続くことです。保護者・地域の皆様方にも「見るだけのもの」ではなく「みんなで作るもの」という気持ちで、また、この新しい行事を応援していただければと思います。



『子供は行事で育つ』という、教育界では昔から言われてきた言葉があり、今回も間違いなくその思いを強くもちました。閉会式の場でもお伝えしましたが、「短距離走に拍手や声援で大きく応援する姿」も「表現運動を見ながら、一緒になって手足を動かしたり歌ったりする姿」もが実にほほえましく、競技や演技をする子供たちだけでなく、児童席で嬉しそうに応援する子供たちの姿も一緒に見て楽しませてもらいました。4年ぶりに全校の子供たちが一堂に会しての行事は「かみっ子のみんなで、会場のいい空気を作っていたな」と実感します。

子供たちの成長にとって欠かせないものの一つが「人にあこがれる気持ち」です。「5年生のソーランがすごくよかったです」「6年生の金管の音がとってもきれいで迫力がありました」と、上級生の凛とした姿にあこがれた子供たちが、また成長して次の上小岩小を作っていくことでしょう。本校のよき校風は、こうして脈々と受け継がれてきたものに違いありません。たくさん「あこがれ」の気持ちをもって、さらに成長して行ってほしいと願います。



京成線の車窓から見える江戸川の土手には、真っ赤な彼岸花が見事に咲き誇ります。長く暑い夏が去り、ようやく訪れた本格的な秋をしっかりと楽しみながら、「上小岩フェスタ」「社会科・生活科見学」「北小岩まつり」「展覧会」…と続く秋の諸行事に、子供たちと共に向き合っていきたいと思えます。大成功だった体育行事発表会と同様に、これからも「頑張るかみっ子をみんなで温かく応援する上小岩小」でありますよう、どうかよろしく願いいたします。

<<10月の全校道徳>>

『親切・思いやり』

身近にいる人に温かい心で接し、進んで親切にする。